

ほのぼの

Hokkaido Civic Activity Support Center

Vol.90

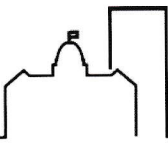
2023年度全道中間支援センター研修会 in 北見

2023年度活動報告

公募企画講座
中間支援組織等事業助成

センターからのお知らせ





レポート

2023年度全道中間支援センター研修会 in 北見

廣島 悠作さん NPO法人Bonos



2023年11月17～19日の3日間の日程で全道の中間支援組織が集まり、北見で研修会を開催いたしました。

北見地域では、行政の新しい取り組みや北見NPOセンターが関わっている新しい事業の在り方など、これからのNPOの事業や活動について学びの多いところが開催地となった理由です。釧路、北見、札幌、室蘭、函館、旭川、中標津など多くの地域から現地に來ていただき参加してもらえました。また、オンラインでの参加もあり、3日間賑やかな研修となりました。

3日間の企画や全体のアドバイザーとして、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表者・川北秀人さんと、現地アドバイザーとして特定非営利活動法人北見NPOサポートセンターの谷井貞夫さんにご協力をいただきました。

新しい対応「書かない窓口」

北見市役所の取り組みとして実施している「書かない窓口」について、実際に仕組みの構築の担当者である及川慎太郎さんから内容について説明をしていただきました。窓口業務で書くことを極力少なくしていく事で、利用者の待ち時間や動きなどを最小限にしていく事で、職員の動き方とか考え方も変わってくるなどがとても印象的でした。

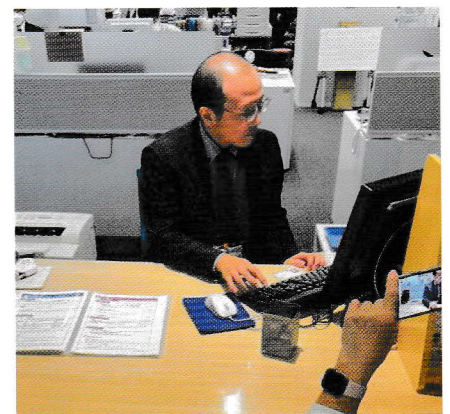
その後、市役所1階窓口を実際に視察し、デモンストレーションで申請の流れなどを体験させていただきました。体験した中でわかったこととして簡素化できる事務手続きが多くあり、体感した時間だけでも大幅に短縮した実感が得られましたし、複合的な申請なども一か所で集約して対応してくれる点においては、利用者の視点でシステムや必要な導線などを考えていることも見えてきました。

引き続き会場に戻り北見市役所の書かない窓口について、現在に至るまでどういう経緯や変化があったのかななどを説明してもらいました。

会場からの質問で、市役所内で新しい取り組みを始めることについて、協力体制とか批判などはなかったのか、市役所内

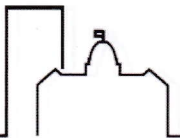
での横の連携をどう進めていったのかななども具体的に回答をしていただきました。

アドバイザーの川北さんから北見市の取り組みのポイントについてあらためて解説をしていただき、利用者の視点で考えることで、職員側の業務効率やマニュアルの作成など、双方にメリットがあることが印象的でした。最後に会場の参加者とも意見交換などを実施していきました。



小規模多機能自治の取り組み

小規模多機能自治の北海道ブロック会議に参加させていただきました。自治体の担当者さんや当日現地で参加した市民団体から、現状の取り組みの報告や今日のお話の中で聞きたいヒントについて共有する時間をつくりました。



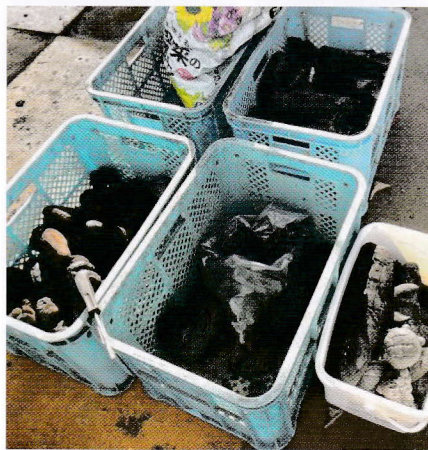
説明を聞いている中で、それぞれへの質問項目や感想などを書き出しておき、後半のワークでは実際に質問を書かれたところが回答するというワークを実施しました。具体的にどう取り組んでいるかなどの質問や、中にはねぎらいなどのコメントもあり、それぞれがどういう取り組みをしていて、なにを課題としているかを共有することができました。

その後、ヒントや質問を書かれている自治体や団体から説明をする時間をつくり、内容を深堀りしていきました。川北氏のアドバイスも適宜入れつつ、各自自治体がどういう取り組みをして、どういうことに悩みを抱えているか話し合う時間となりました。リモートで参加して下さっていた、雲仙市の小規模多機能の取り組みを参考事例として紹介していただき、川北さんから総括としてまとめのお話をもらい終了しました。

道内のNPOの取り組みの視察

道東地域のNPO法人で、新しい取り組みなどの事業展開をしている施設の見学を実施しました。

1か所目は、網走市にあるNPO法人夢の樹オホーツク天都山ホームさんにおうかがいしました。こちらの法人では燻製の機械を新たに導入し、福祉事業の一環としての取り組みについてご説明をしていただきました。



地域内の農家さんが使わなくなった燻製機械があるところから構想が始まり、地域の特産物を活用していくことと、福祉事業の連携として始まりました。燻製に使用するチップなども地域内の樹木の伐採などの作業から出たものを活用したり、燻製にする農作物も、事業所の利用者さんと一緒につくったものを活用したり、さまざまところに地域内の連携が見受けられました。

2か所目は美幌町にあるNPO法人マイスペース美幌美富ベーカリーさんを視察いたしました。事業所にあるパン屋さんの敷地内に炭を製造する機械を設置し、製炭を軸にした福祉と一次産業との連携についてご説明をいただきました。

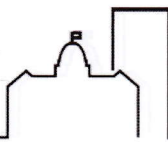
食品に限らず、製炭できるものはたくさんあり、炭をつくるというだけではなく、地域内の不用品や産業廃棄となる物品なども炭にして再活用していく仕組みなどを知ることができました。

また、こうした仕組みを自法人だけではなく、他地域での取り組みとして広げてい

くために研修や視察の受け入れなどにも力を入れていることなどを話していただきました。炭づくりを続けていく中で、関わっている人や利用者さんも、炭の活用方法や自分でやりたいことなどを自発的に話してくれるようになったというお話が印象的でした。

3か所目は北見市にあるNPO法人とむての森さんを視察いたしました。生活型施設として地域で長年活動を続けてこられ、その取り組みや併設しているパン屋さんなどの活動のほか、設立当初と社会情勢やニーズが変わってきているところと、そうした状況からの今後の展望などについて説明をいただきました。





今後の北海道のNPO戦略

3か所の視察の中で、今後のNPOの事業展開の在り方などについてももうすこし深掘りしようと、視察した法人と連携して事業を進めている谷井さんと川北さんと事務局にて対談形式で意見交換をしました。

意見交換の中で、この3法人の取り組みの視察するべきポイントを客観的な視点で川北さんからあらためて説明をしていただきつつ、実際に連携を進めていく中での動きなどを谷井さんからお話をいただきました。地域において中間支援組織の役割や関わり方として、個別の法人支援だけではなく新しい仕組みや価値を創出し、他分野における地域課題の解決を担っていく展開などをお聞きすることができました。

後半は、北海道NPOサポートセンターの中西さんから、さまざまな法人の決算書から見えてきたもの、伊藤さんから10月に実施したNPOフェスの開催結果について報告をしていただきました。



さらにその内容を踏まえ、今後のNPOの戦略についてどう考えていけばいいか、グループワークを実施いたしました。参加者をグループに分け、

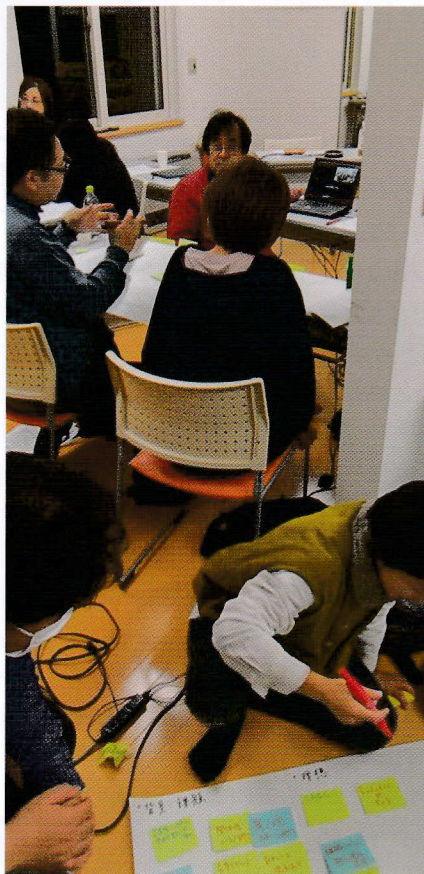
1. 教育
2. コミュニティ
3. パートナーシップ
4. 対話

の4テーマを設定し、さらに

- (1) 背景・課題
- (2) 理想
- (3) 強み
- (4) 資源
- (5) 実践
- (6) 中間支援

の6分類に分けて整理をして深めていく時間としました。

グループごとに話し合った内容を全体で共有する時間をつくり、その内容に対してアドバイザーの川北さんから、NPOの戦略についての意見や、他地域の取り組み事例についてお話をいただきました。



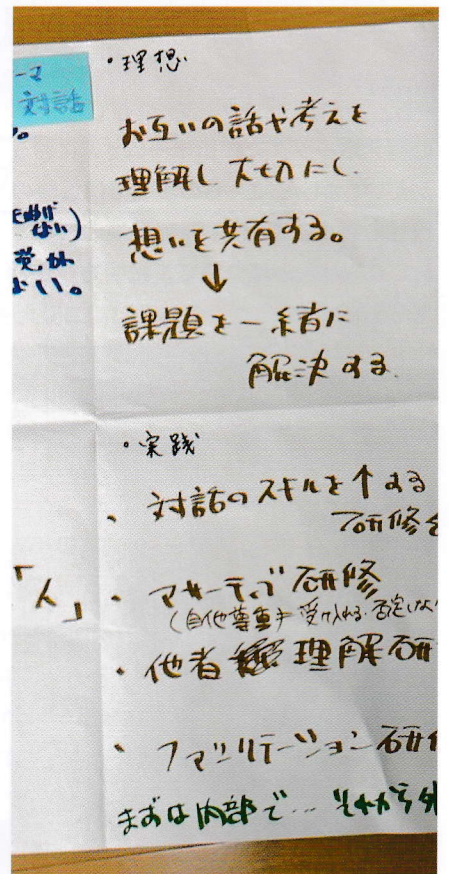
あなたにとってNPOで働くとは

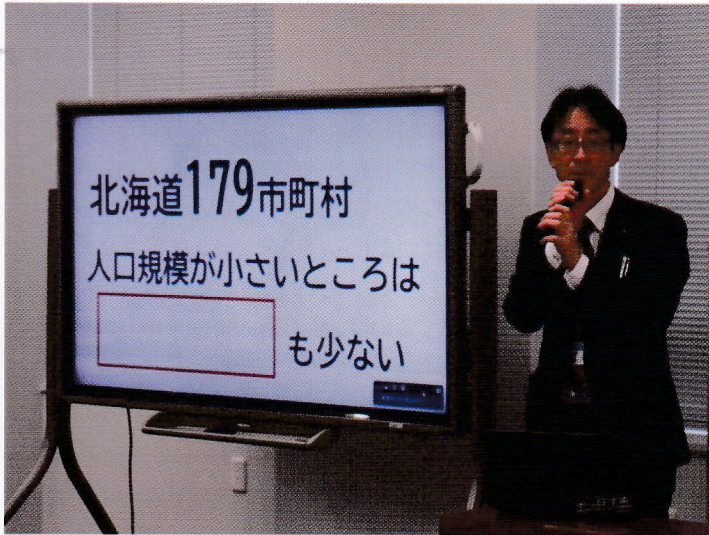
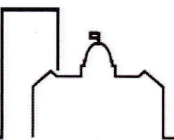
NPOで働くということを深掘りするのには人材育成につながるテーマでもないと捉え、研修の事前準備として道内のNPOに向けてアンケート調査を実施しました。その内容をミニ白書としてまとめ、道内のNPOの課題や困っていること、関心を持っているところがどこにあるのかを共有しました。

アンケートからは、有償/無償の割合から常勤ではない形で関わっている方が多く、また今のNPOの従事年数と生涯NPOの従事年数に差があることから、複数の法人に関わっている方が多い印象でした。

関心のあるテーマとしては、人材育成や活動資金、ガバナンスなどの項目が高く、事業承継も含め人を育てていくことにより関心度が高いと感じました。

NPOへの人材定着と、NPOに関わるきっかけには関連性があると仮定したところ、社会課題に直面していく中で活動に出会うことや立ち上げているパターンと、





社会貢献活動がたくわえて関わっている方のほか、仕事としてNPOを選んでいるという方もいました。こうしたところは、組織のミッションや活動への熱量の差にもつながっているのではと感じました。

NPOに関わってみて良かったと感じている部分では、外部評価、自己成長、自分らしくやれる、人や社会との接点を増やすなど、多岐にわたり要素が出てきました。こうした要素や価値観の違いを理解していくことは、人材育成の視点としても重要ではないかと感じました。

共有した内容を踏まえ、グループワークを通してミニ白書の内容をさらに深めそれぞれの取り組みや内容を考える時間をつくりました。

グループワークの問いとしては、『1. 報告から感じたこと 2. 課題と感じていること 3. ヒントが欲しいと思うこと』の3つに設定し、3～4人で5グループに分けて実施しました。グループワークはワールドカフェ形式で実施し、同じ内容やテーマでメンバーを入れ替え2周することで、よりテーマについて話し合う時間を多くつくることができました。出てきた内容については、報告者を設定し全体で共有しました。

ミニ白書の内容から出てきた課題や参考としたいヒント、そしてグループワークで出てきた内容について、川北さんより、全国の事例を踏まえ他地域ではどのような取り組みがあるのかを説明していただきました。

会場からは事業継承や人材育成における評価方法について、事業評価をしていく上での指標の立て方、限られた予算の中でのNPOならではの給与形態などについて質問があり、講師から全国の事例を含め、考え方についてヒントを話していただきました。

まとめ

3日間の研修を通して感じたことは、一つは行政の取り組みとして、NPOの事業として、中間支援組織として、それぞれの関わり方で地域の社会課題に取り組んでいる事例についてお話が聞けました。形や形式ではなくどこに視点を置くのか、何のためにやるのか、これまでのやり方とか枠組みを分解し、必要なことをやりつづけていく事…そうしたことは共通しているように感じました。

2つ目は、他分野含め連携をしっかりと作りながら、多くの人や物を巻き込んで地域の課題に向き合っていく事の大切を感じました。そうした意識を持っている人が核となり様々な事業に発展していく事が学べました。

先駆的な事例も多くありましたが、地域の課題に向き合っていく事や地域内で連携の場を作っていく事など、中間支援組織として地域に求められる役割は変わっていないところはあるのかもしれないと感じました。

2023年度全道中間支援センター 研修会in北見 スケジュール

行政の新しい取り組みや、革新的な事例などを視察し、今後の北海道のNPOの戦略を考え、あらためて中間支援組織の役割について深めることを目的に開催（オンライン参加あり）

11月17日（金）

13:00 「書かない窓口」について

15:00 小規模多機能自治推進

ネットワーク会議

11月18日（土）

9:00 視察

・夢の樹オホーツク天都山ホーム

・マイスペース美幌

美富ベーカリーとむての森

15:15 北海道のNPO戦略について

11月19日（日）

9:00 人材育成とNPOで

働くことの意義・思い

13:00 終了



センターからのお知らせ



北海道市民活動団体情報提供システム



北海道立市民活動促進センター(しみセン)では、北海道内で活動する市民活動団体(NPO法人/任意団体)の登録情報や活動内容などを紹介しています。

イベントやボランティア募集など、活動に参加したい方や団体と連携・協働をしたい行政や企業等のみなさまの情報広場としてご活用ください。

北海道市民活動団体情報提供システム

サイト内検索 検索

団体検索 | ホーム | 利用案内 | 統計データ | リンク集

団体情報検索
市民活動団体について調べたい方

団体情報発信
市民活動団体の情報登録・更新

「北海道市民活動団体情報提供システム」とは

- 活動内容などの紹介
市民活動団体(NPO法人/任意団体)の登録情報や活動内容などを紹介します。
- 情報広場
イベントやボランティア募集など、活動に参加したい方や、団体と連携・協働をしたい行政や企業等の皆様の情報広場としてご活用ください。

トピックス一覧: [イベント](#) [ボランティア等の募集](#) [お知らせ](#)

このシステムでは、団体名、活動分野、振興局、市町村、キーワードによる道内の市民活動団体の情報検索ができます。また、NPO法人については定款、事業報告書、活動計算書/収支計算書、貸借対照表、財産目録を閲覧することができます(PDFファイル)。

さらに、このシステムを使って、市民活動団体のイベント情報やボランティア募集等の告知ができます。ウェブ上でいつでも情報発信ができるので、ぜひご活用ください。

システムへは当センターホームページの「北海道市民活動団体情報提供システム」もしくは下記QRコードからアクセスできます。



北海道立市民活動促進センター

指定管理者:(公財)北海道地域活動振興協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目
道民活動センタービル(かでの2・7)8階
TEL.011-261-4440 FAX.011-251-6789
E-mail:center@do-shiminkatsudo.jp
https://www.do-shiminkatsudo.jp/



月~金 9:00~21:00

土日祝 9:00~18:00

公共地下歩道:(1番出口)徒歩約4分

